

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化施設映像配信環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2458)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,573 千円 (前年度予算額：10,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
要求額	8,573	0	0	0	0	0	0	0	8,573
決定額	8,573	8,573	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県有文化施設では、新型コロナウイルス感染防止のため、文化イベントの開催自粛や入場者数の制限等を行っており、文化関係団体・個人の発表の機会や、県民の文化芸術に触れる機会が失われている。コロナ禍においては、コロナ感染を拡大させることなく、安心安全に、文化関係団体等が文化芸術の活動ができ、県民が鑑賞できる機会の創出が求められている。

(2) 事業内容

安心安全に文化芸術の活動ができ、より多くの県民等が文化芸術を鑑賞できる機会を創出するため、飛騨・世界生活文化センターの飛騨芸術堂に指定管理者や貸館利用者が催す文化芸術の映像をライブ配信 (録画配信も可) できる設備を整備する。

なお、長良川ホール (ぎふ清流文化プラザ) は令和2年度に整備済みであり、サラマンカホール (県民ふれあい会館) は令和3年度末までに整備見込みである。

(3) 県負担・補助率の考え方

県有文化施設の設備整備であるため、県が実施することが妥当である。
(県負担 10/10)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	8,573	映像配信に係る機器等の整備 ・飛騨芸術堂：8,573
合計	8,573	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

今年度策定予定の「DX推進計画」で位置づける予定

(2) 国・他県の状況

別添「公立文化施設におけるオンライン配信環境整備状況一覧」のとおり。

(3) 後年度の財政負担

経年劣化による機器の修繕に係る経費については、当該経費が60万円未満である場合には指定管理者が、60万円以上である場合には県が負担する。
(基本協定書で規定)

(4) 事業主体及びその妥当性

県有文化施設の設備整備であるため、県が事業主体として実施することが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 飛騨・世界生活文化センターの飛騨芸術堂に、指定管理者や貸館利用者が
 催す文化芸術の映像をライブ配信（録画配信も可）できる設備を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

文化施設の設備整備に関する業務であり、定量的な指標で表すことが困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 飛騨センタでの取組みは無し。OKBふれあい会館及びぎふ清流文化プラザでは、各施設のHPで指定管理者主催イベントの映像を配信。
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3 コロナ禍の中で失われている、文化関係団体・個人の発表の機会や県民の文化芸術に触れる機会の創出や、県のデジタル化・DX推進に資する事業であり、必要性が高い。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 指定管理者による操作方法の支援など貸館の利用者にとって、利用し易い環境を整備する。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 指定管理者に当該設備を活用した自主企画事業を積極的に実施させ、アフターコロナにおける文化芸術活動の新たな公演・鑑賞スタイルを提供できるようにする。 また、指定管理者に web 配信関連設備の操作方法を習得させるとともに、利用希望者への適切な web 配信関連設備の操作指導など、貸館利用者のニーズに柔軟に対応できるようにする。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	